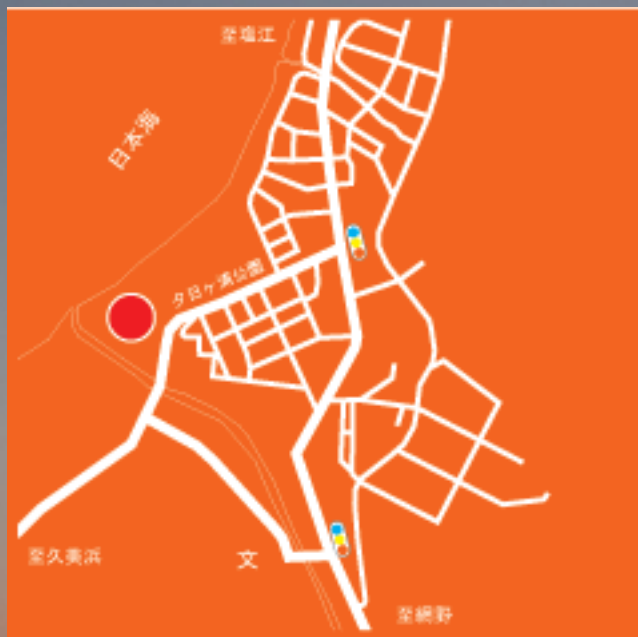




茜色の祭典

夕日を観よう

8 (土)
31

夕日と炎による古代の郷愁

● 花火大会
(8月15日)

● 茜色のステージ制作
(8月19日)

● プレイベント サンセットライブ
(8月23・24・25日)
(PM7:00~9:00)

● 茜色の祭典 (夕日と炎の響宴)
(8月31日 PM4:00~9:00)

■ 軽トラ市と模擬店 (PM3:00~6:00)

■ サンセットライブ (PM7:00~9:00)

■ 竹ランブシェードによる砂浜の星
(PM7:00~9:00)

■ 古代のオブジェと炎の演出
(PM7:00~9:00)

■ 炎による焼く、煮る、蒸す、茜色のレストラン
(PM4:00~9:00)

雨天の場合翌日曜日に順延

丹後は日本のふるさと 丹後建国1300年

丹後に住む私たちの生活の中で海岸線の景色は日常的であります、時間と共に変化する光景は観る者を飽きさせることなく、生活と深い繋がりを持ち、日常の価値観を象徴するものです。

歴史的にみれば縄文時代、弥生時代、古墳時代にかけて、大陸との交流も盛んに行われ、交易でもたらされた品々が数多く出土しています。それはこの日本海が海の道として大陸と丹後との往来により、高度な文化を生み、心の奥底に秘められたDNAが現代の私たちの活力の源となっていると考えます。

今後、「海のある京都」をスローガンに日本海側の隆盛を期待し、平和で豊かな東アジアになることを目指し、丹後が先進的な役割の一端を担うことができたらと思います。「茜色の祭典」は古代のエネルギーである「太陽」と「炎」をテーマにしています。



■会場 京都府京丹後市網野町浜詰 46 夕日ヶ浦海岸西駐車場

問い合わせ先 ヒカリ美術館 0772-74-1009

JRでのアクセス

京都駅～福知山～木津温泉駅下車徒歩 25 分

お車でのアクセス

京都市内～福知山～京丹後市～夕日ヶ浦海水浴場



主催／茜の祭典実行委員会 共催／浜詰区、浜詰地区公民館運営委員 協賛／夕日ヶ浦・木津観光協会、浜詰観光協会 後援／京都府、京丹後市